

デマンドタクシーの 利便性の向上を

岡沢 清 議員

質問 デマンドタクシーの運行について、①「利用者の把握に必要な運行の確保」②「病院・買い物などの目的別の利用の把握」で、予約オペレーターとドライバーとの連携により、時間別・目的別の利用状況を把握し、病院への利用が集中する午前の早い時間帯のみ増車、または、車両をワゴン車にすることは可能か。午前中は病院への利用者を優先し、買い物や公共施設などへの利用者には午後の利用を推奨できないか。

③「複数の事業者による運行体制で運行数の確保を」との観点で、契約期間を今の5年から2年に短縮し、村内事業者持ち回りで契約してはどうか、また、2社同時に契約することで、利

用者への対応をよくする効果が見込まれるのでは。④「利用を必要とする高齢者や身体的弱者のニーズに合った、介助を含むサービス体制の確立」を図ってはどうか。

答弁（保健福祉部長） 現在、デマンドタクシー登録者は、木原地区192名、大谷地区228名、安中地区89名です。営業日数は月平均20日で、利用者数は1

日平均12名です。1日の利用者数を見ますと、午前中の時間帯に、病院まで利用している方が75%、午後の時間帯は、買い物や公共施設の利用者が25%です。午後の時間帯については、大分利用できる部分がありますので、病院の予約等の時

間等を利用者で調整していただくのも、一つの方法と考えています。「複数の事業者による運行体制」については、現在、村内にはタクシー事業者が4業者ありますが、関東陸運局より、デマンド型交通運行を認可された業者は1社です。その1社と業務委託契約をして運行しています。「利用を必要とする高齢者や身体的弱者のニーズに合った、介助を含むサービス体制の確立」については、介助を必要とする要支援・要介護の方や身体障害者1級・2級の方については、福祉タクシーの利用料金助成事業制度があり、また、社会福祉協議会においても、福祉車両の貸し出しを行っております。車両は、普通車で車いす対応型となっています。今回のアンケート調査の結果から、いろいろな要望が上がってきています。利用者の利便性を考慮した、利用者が利用しやすい交通体

系を多方面から、今後検討していきたいと考えています。

答弁（村長） 利用者アンケートをとった結果、一番利用したいときに利用できないというのは、事業として、かなり見直しは必要だろう、当然村も、事業を行っている側も、（予約を）断らないでできるような状況は絶対必要だろう。今以上に利用しやすい状況は、どんな使い方をしていたか、そこを含めて検討する余地があるというのは、そんなに何カ月も置いてやることじゃない。遅くても3月の議会までには、幾らで

もそのぐらいお示しできるぐらいのことは、当然やるべきですが、多岐にわたる利用がすべてクリアできるものではなく、福祉タクシーの部分の利用者がよく理解をしていただいて、使い方をよく選定していただくのが一番良いと思います。